

たっぷり45分！

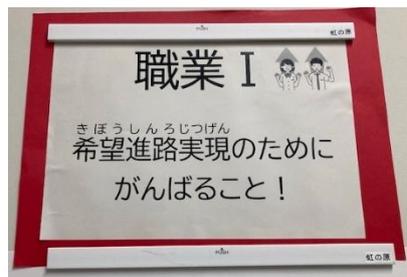
令和7年度がスタートして1か月が経過しました。少しずつ私も学校生活に慣れてきました。着任1年目ではありますが、「聞く力」、「創る力」、「繋がる力」を大切にして魅力ある虹の原の教育に尽力してまいります。

さて、この「校長の窓」では、『校長＝広報担当』として、虹の原の教育実践を県内外に発信していくことを目的に定期的にアップしていきますので休憩時にもお読みいただければ幸いです。

第1号は、『令和7年度 学校経営方針』の紹介をします。

本校ホームページから「学校紹介」―「学校概要」―「学校経営方針・校訓」の順に入ってくださいとたどり着きますので、ご一読いただければ幸いです。

今年度の重点取組事項の一つに「自立活動の指導の充実」を掲げていますが、それにまつわるエピソードを一つ紹介します。



日々、給食の検食後は、全校舎の各教室を巡り、子どもたちの学習の様子を見せてもらっています。敷地が広いためたっぷり45分はかかります。加えて、授業開始から1か月が経過し、最近では廊下の掲示板に子どもたちの学習の成果物や作品等の掲示も増え、それらをじっくりと見て回る楽しみもできました。

例えば、新高等部棟の1階廊下の掲示板には、「職業 I」の授業で、テーマ『進路先から採用してもらうために今日からはじめること』に対する生徒たちの考えが付箋に貼ってまとめられていました。それらをさらに私なりに「メリット・サイクル」の視点を用いて次のように表に整理してみました。

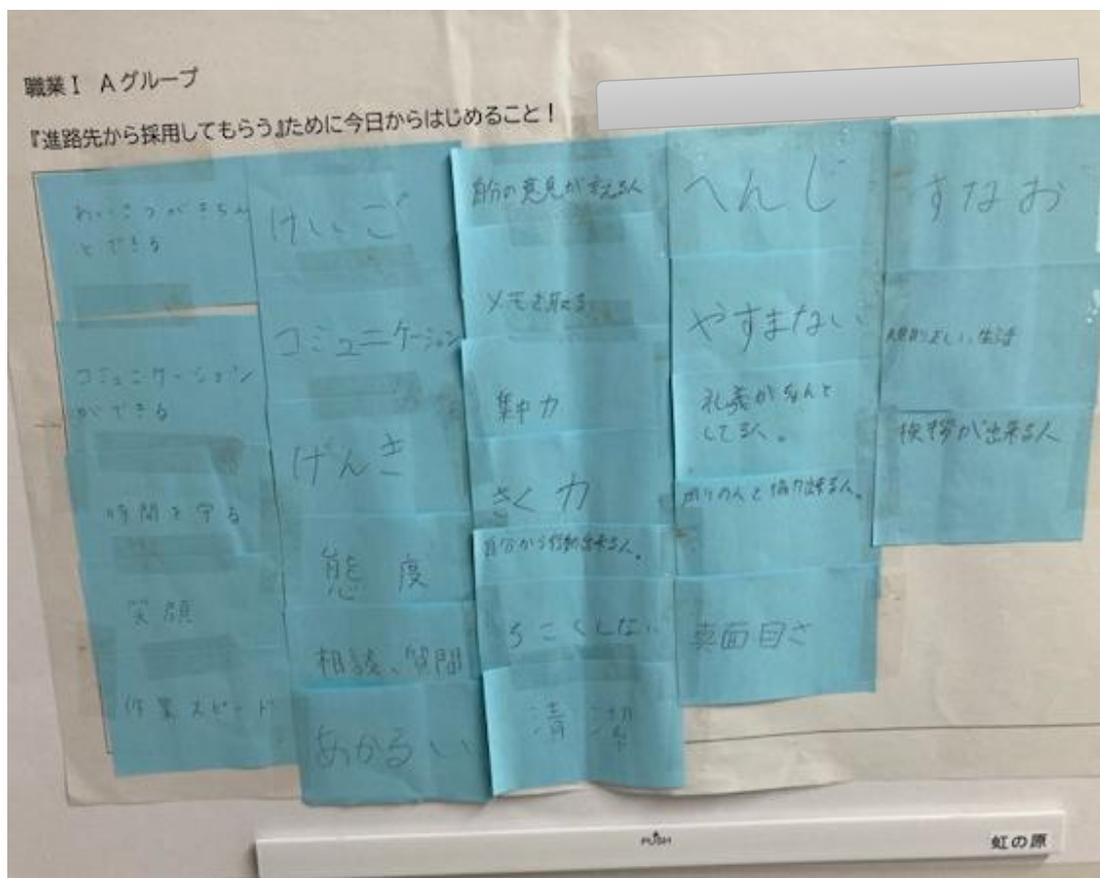
向上する資質・能力	具体的な変化	仕事への影響
体調管理、健康管理、規則正しい生活、早寝・早起き、体力、食生活	休まない、遅刻しない、集中力の向上	時間を守る、仕事中に寝ない
礼儀	正しい姿勢	まじめさ
みだしなみ	清潔感	第一印象
笑顔	明るさ、元気よさ	
挨拶、返事、敬語、言葉遣い、コミュニケーション力	感情をコントロールする、思っていることをそのまま言わない、愛想よくする接する、指示通りに動く、周りの人と協力や協調する	仕事があじめにできる、静かに作業する、作業スピードが高まる、自分から
複数の人とかかわる、声を掛ける、報告する、質問する、相談する、自分の意見を言う	言われたことを素直に聞く、聞いたことをメモして覚える	
聞く力、仕事内容を理解して取り組む	言われたことを素直に聞く、聞いたことをメモして覚える	

特別支援学校高等部学習指導要領では、「生徒一人一人が、自立活動における学習の意味を将来の自立や社会参加に必要な資質・能力との関係において理解し、取り組めるような指導内容を取り上げること」としています。障害のある生徒が自立し、社会参加するには、各教科等で学ぶ資質・能力の他に、障害による学習上又は生活上の困難さを改善する力を身に付けていく必要があります、そうした困難さに対応する力を生徒が主体的に学べる機会が自立活動の指導と言えます。

表の赤い四角囲みのとおり、生徒も、つい言われたらマイナス思考に陥りがち、思っていることをつい口にして相手とトラブルになりがち、イライラが表情に出やすい、たくさんのことを一度に要求されたら頭の中が混乱しがちなど、自立活動の内容に関連した自分の課題を改善したい、と考えているようです。

このように自立活動での学習が、将来の自立や社会参加にどのように結び付いていくのか、職業科等の授業を「往還」して考え、自立活動を学ぶことの意味に自ら気付いたり、目的意識をもって、主体的に自立活動の学習に取り組ませたりすることは、とても効果的で重要です。このことは中学部や小学部でも同様です。

よって、学校経営方針の「学校教育目標」や「令和7年度 学校経営(経営活動、教育活動)の重点取組事項」の一つに「自立活動の指導の充実」を位置づけて重視していきます。



「聞く力」、「創る力」、「繋がる力」を大切にして魅力ある虹の原の教育を展開する
- 「R7年度 学校経営方針」でめざす！ -